

委員からのご意見及び対応について

ページ	施策	ご意見	対応
20	コーディネート人材を確保し、コーディネート機能の強化を図ります。	「各エリアの地域診断」という言い方は、会議の時に委員長も言われていたように、「各エリアの地域アセスメント」というべきである。	ご指摘いただきました点については、表記を改めました。
21	地域づくりを進めるための人材育成と民間資源の確保の支援について取り組みます。	今後の委員会で、創業スクールを終了された13名の方のその後や、アフターケアについての報告をお願いしたい。また、支援の検討の内容や結果についても報告をお願いしたい。	創業スクールの卒業生は、これから創業する方や創業して間もない方が多いため、創業時にかかる費用を助成する「狛江市創業支援家賃・改修費補助金」や市の制度融資(創業資金)等をご案内して創業しやすい環境づくりに努めています。 また、主に飲食店を開業する卒業生に関しては、和泉多摩川駅構内にあるFORT MARKET(トライアル型の飲食店出店施設)の紹介を行い、創業におけるサポートを行っています。 毎年度、創業スクール受講生で市内で創業される方が1、2名ほどいます。
		創業セミナー、創業スクールについては、福祉分野に特化した講座の開講も検討の余地があるのではないかと考えています。また、創業形態や傾向を見ながら、今後は福祉分野を含めた特定の業種やジャンルを対象とした講座の開講も検討していきます。	現段階では、セミナー参加者の業種が多岐にわたるため、ある分野のみの講座の開講は難しいと考えていますが、創業形態や傾向を見ながら、今後は福祉分野を含めた特定の業種やジャンルを対象とした講座の開講も検討していきます。

ページ	施策	ご意見	対応
22	災害時の福祉避難所の円滑な運営体制を整備します。	特に水害時の避難体制について、もう少し具体的に検討する必要がある。	<p>令和元年東日本台風以後、水害時の避難については防災カレッジ、安心安全通信などの機会を捉えて周知・啓発に取り組んでいます。今年度の総合水防訓練では、市内11箇所の指定避難所及び1箇所の指定福祉避難所の開設・運営訓練を実施し、市民は実際に避難するという実践的な訓練としております。</p> <p>また、令和4年7月発行予定の安心安全通信では防災特集号として水害時の避難訓練と題して、総合水防訓練で実施した内容を紙上で分かりやすく紹介し、訓練を体験できるような周知の工夫もしております。(資料2-3)</p>